

足羽川ダム本体建設工事の 取り組みについて

足羽川ダム本体建設工事
清水・大林特定建設工事共同企業体 岩瀬 真



足羽川ダム（上流より）

1. 工事概要

足羽川ダムは、九頭竜川水系足羽川の支川である部子川に建設中の洪水調節を目的とした重力式コンクリートダム（堤高 96m、堤体積約 67 万 m³）である。

足羽川ダム本体建設工事は令和 2 年 8 月に着工し、令和 4 年 11 月から堤体コンクリートの打設を開始し、現在堤体コンクリート打設の最盛期を迎えている。

2. 足羽川ダムの特徴

足羽川ダムは、平常時には水を貯めない「流水型ダム」である。平常時は川底と同じ高さに設置されている河床放流設備を川の水が流れる。出水時は河床放

流設備内に設置したゲートを閉めて貯水地に水をため込み、出水終了後、貯めた水を小流量放流設備と常用洪水吐で、下流に徐々に流していくこととなっている。

3. 堤体建設工事の概要

本工事は、原石採取から骨材製造、コンクリート製造まで全てを現場内で確保している。骨材製造・輸送設備、コンクリート製造・運搬設備、濁水処理設備といった、コンクリートダムの

施工に必要な仮設備は全てそろっている。

ゲート付き流水型ダムの特徴として、低標高部に、河床放流設備、常用洪水吐、小流量放流設備、監査廊が配置されていることが、貯水型のダムとの大きな違いである。このため、低標高部の堤体打設は ELCM 工法を採用した。堤内構造物が少なくなってから RCD 工法を採用した。また、RCD 工法のコンクリート運搬に、18t 吊り固定式ケーブルクレーン 2 基と、SC プレミアムベルコンを使用することで作業効率の向上を図っている。

4. おわりに

鮎釣りで有名な足羽川は、県内外から毎年多数の釣り人が来ている。河川環境を保護し、高品質のダムを完成させるべく JV 職員一同は日々安全作業に励んでいる。



原石山



骨材製造設備

足羽川ダムの整備事業に貢献します



足羽川ダム（下流より）

足羽川ダム本体建設工事 清水・大林特定建設工事共同企業体

子どもたちに誇れるしごとを。

 **清水建設株式会社**

執行役員北陸支店長 角野 淳一郎

北陸支店／石川県金沢市玉川町 5-15

☎ 076-220-5555



株式会社 大林組

専務執行役員大阪本店長 川上 宏伸

大阪本店／大阪市中央区北浜 3-5-29 日本生命淀屋橋ビル

☎ 06-7632-8700